

製造業のビジネスチャンスが見える  
モノづくり最新情報サイト  
じゃぱんお宝にゆ〜す  
<https://japan.otakaraneews.com>

# じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つける  
製造業応援サイト  
じゃぱんお宝WEB新聞  
最新情報満載！好評配信中！

## 製造業の手作業を自動化で人手不足解消

### Automation Sier by Authentec! オーセンテック 高田 全社長に聞く!



「中小製造業の共通課題は慢性的な人手不足。弊社は人手不足を解消する提案を行っている」。

オーセンテックは、ブランク加工後の板金製品のバリを除去するバリ取り装置AuDeBu(オーデブ)シリーズをはじめ、板金製品の油脂分や埃を洗い落とす洗浄装置AuDeBu Racoon(ラクーン)シリーズ、バリ取り機AuDeBuシリーズと連携し、ロボットによりワークの回収・仕分けを自動で行うAuDeBu 1002 Robotシリーズなど、製造現場の手作業を機械で自動化する各種ソリューションを提供している。

「板金工場では夜間レーザで加工し、ワークシュータに溜まった製品をどう仕分けするかなど、加工現場では各工程間で様々な手作業が行われている。これをどう機械に置き換え自動化する

か、弊社は各工程間の橋渡しを行っている」。

国内には様々なエスアイヤーが多数存在する。装置とロボットをリンクさせることは容易でも、それをどう動かすかが重要になる。

「板金工場であれば、ブランクから曲げ、溶接、梱包、出荷まで工場全体の各工程の流れを熟知していないと加工現場に最適な自動化を構築できない」。

同社は板金工場の入口から出口まですべての工程を理解しているため、各工程間でどういう自動化であれば次工程にスムーズに流れるか、そのノウハウを多数蓄積している。

「バリ取り機でもしかり。それは弊社が各工程間の自動化を可能にするメインの機械を持っているから」。

同社には各工程のメイン加工機がない。

しかし、逆にどんなメイン加工機にもリンクさせることができる。言い替えれば、“メーカー縛り”のないすべての板金工場にリンク可能で、独自の人手不足解消のための自動化を提案できる。

「大手加工機メーカーさんの最新加工機はすでにデジタル化やIoT化、AI化されている。問題は古い機械で、全てが見える化しないと意味がない」。

すでに同社はあらゆる加工設備の稼働状況の見える化が可能で新たなIoT技術の第1弾aCLOUD(エークラウド)を開発している。

aCLOUDは、一般的な機械ありきの視点の生産性を追求したIoTではなく、マネジメントを視点とした独自のシステム。板金工場のあらゆる設備の稼働状況がネットを通してパソコンやタブレット端末などから確認できる。

何時に各設備がどのような動きをしているか、時間軸で遠隔から見る事ができる。



また、aCLOUDで集積した稼働情報はグラフ表示されるほか、週単位や月単位の表示も可能。

各設備の稼働時間からメンテナンス時期なども表示するほか、残業時間帯に稼働した場合は色分け表示されるなど、管理者が一目で機械の稼働状況を目視できる。

「aCLOUDは生産管理をするものではなく、板金加工機メーカーさんなどが提供する基幹生産管理システムに管理されていない工程間のバリ取り機などの周辺機器の稼働情報を基幹生産管理システムに送り出す役割を担っている」。

4月から本格的販売を計画していたが、新型コロナウイルスを鑑み、様子を見ている。

IoTは情報を集めれば集めるほど大きな効果を発揮する。情報収集には時間を要するため、できるだけ早く収集し

ておくことが重要となる。aCLOUDはそうした意味でも見逃せないシステムになりそうだ。

